

# Close up だて



黄金第8区自治会の中嶋康会長（左）と  
第11区自治会の伊藤利信会長（右）

## —災害に備えて 地域で助け合う仕組みを—

### 黄金地区8・11区自治会と ともに避難訓練を実施



避難訓練の様子



避難訓練の講評を聞く参加者

**平** 成23年3月11日に発生した東日本大震災では、東北地方の各地が津波による甚大な被害を受けました。市はこうした状況から、9月29日に津波による被害が想定される黄金地区の住民を対象にした避難訓練を実施しました。

今回の訓練は、市・西胆振消防組合・伊達警察署の行政機関が連携し、確実な住民避難に繋げるため現地で検証を行うことや、地域の防災力を高めようというもので、黄金第8・11区自治会から約50人が参加。

午前10時5分に大津波警報の発令を知らせるサイレンが鳴ると、それぞれの家から遠い方で約1km歩き、海拔約10mの高台に避難。その後、避難所の達南中学校にバスで向かいました。

訓練に参加した黄金第8区自治会中嶋康会長と第11区自治会伊藤

利信会長は「最近の日本で発生する災害を見てみると、何が起るかわからない。だからこそ訓練が重要。他の自治会からも参加者がいて、地域住民の防災意識を高める良い機会になった」と振り返ります。

その一方で「今回は車いす利用者など『災害弱者』といわれる方の参加はなかった。今後はそのような方を地域で支える『互助』の仕組みを考えていかなければ」と今後の課題も話してくださいました。

災害はいつ発生するかわかりません。自分だけではなく、家族の命を守るために、一人ひとりが防災マップや避難所を確認するなど「備える」ことが、被害を最小限に食い止め、市全体の防災力を高めることに繋がるのではないのでしょうか。

### 表紙のはなし



9月25日、だて歴史の杜大手門前で行われた野菜即売会「軽トラ朝市」。市内の新鮮な野菜などを生産者の方から買うことができる大人気のイベントです。今年も大勢の来場者でにぎわいを見せる中、店頭立つ小さな売り子さんを発見。「トマトおいしいですよー!」と元気な声でお手伝いをしていました。

### 楽 画 記

■当係には道内外の多くの自治体から広報紙が送られてきます。自治体の数だけ個性があり楽しく拝見しています。包みの中に担当者からの「ひとこと」が添えられていた時には心がほっこりし、広報紙が運んでくれた優しさに感謝したくなります。「広報だて」も皆さんにほっこりしてもらえるような広報紙でありたいものです。(や)

■市フェイスブックでは、必要に応じて当係やそれぞれの担当係がタイミングを見計らいながら、色々な情報を発信しています。例えば、当係では新しい広報紙とその簡単な内容など。そして、つい先ごろ「地域おこし協力隊」の長瀬さんが「地域おこし協力隊フェイスブック」を始めました。ぜひご覧ください。(と)

■だて農業・漁業・大物産まつりにはご来場いただけましたでしょうか？私は昨年引き続き、取材でお邪魔しました。会場内は、市内外の飲食店による特産品の販売コーナーのほか、伊達黒毛和牛の焼き肉コーナーが設けられ、あちらこちらでおいしそうな匂いが…。誘惑と戦いながらの「辛い」取材でした。(た)